

会議顛末書

						記 録 者	副主幹	石川 純
供 覧	市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 査 係	グループ員
件 名	令和7年度第5回次長会議							
年 月 日	令和7年10月20日（月）							
時 間	午後3時～午後4時							
場 所	3階庁議室							
欠 席 者	なし							
内 容	【付議事項】							
	1 住民自治組織との協定による「市及び関係機関刊行物の配付事業」について 資料に基づき地域づくり推進課より説明 《主な意見・質疑等》 <ul style="list-style-type: none">・ 地区ごとの年齢層にもよるが、LINE等のデジタルツールの活用を基本としつつ、紙ベースが必要な地区は、コミュニティセンターに資料を配置するような手法を検討してはどうか。・ まず、現在の配布物が本当に全戸配布を必要とするものなのか、回覧で十分なのかなどを精査する必要があると考える。 ⇒ 各課にも現状を知っていただいた上で、見直しを依頼する予定である。各次長においても部内の配布物について、必要性の精査をお願いしたい。・ 手法を見直し、効率化して負担軽減を進めていくことは良いことだと思う。アンケートを実施するのか、それとも理事会等にヒアリングしていくのか手法は色々あると思うが、地域の意見を聞きながら、丁寧に進めていく必要がある。・ 今後の見直しの中で、自治会内での全戸配布の減少やシルバー人材センターへの依頼が減少する場合には、自治会の奨励金や委託料等の見直しが必要になることが考えられる。 ⇒ 住民自治組織活動推進奨励金の単価の減額を財源とする場合は特に丁寧に進める必要があると感じている。							
内 容	2 永年保存の文書の管理及び保管に関する検討について 資料に基づき人事行政課より説明 《主な意見・質疑等》 <ul style="list-style-type: none">・ 今後も文書を庁内で保管する場合、どこを想定しているか。 ⇒ 現在の電動書庫と地下書庫を想定しているが、空調等の改修が必要となる。・ 大宮小学校の跡地は検討したか。 ⇒ 検討はしたが、空調やセキュリティ関係設備の改修、浸水を想定して2階に保管する場合には、耐荷重に不安がある。・ どこに保管するとしても、このままであればいずれは飽和することになる。紙媒体で残さずにデジタル化を検討してはどうか。 ⇒ デジタルアーカイブも含めて検討していく。また、今後は電子決裁の本格導入等の中で紙媒体の発生を減らしていきながら、その前段として、まずは残すべき歴史的公文書の選別をしていかなければならないことも認識している。							

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的公文書は、どのような基準で選別していくのか。基準を作って取り組んでいく必要がある。 ⇒ 基準はこれから検討していくが、他市の事例では市の条例の記録や職員の懲罰の記録などが、歴史的公文書の扱いとなっており、どこまでを対象とするか決める必要がある。 ・ 公文書等の管理に関する条例を改正する場合、関連して情報公開条例も改正が必要である。この場合、「情報公開・個人情報保護審査会」への諮問・答申が必要になるため、デジタル都市推進課と連携して、手続き、スケジュール等の調整をお願いしたい。 <p>【その他】 特になし。</p>		
要 措 置 事 項			
情 報 公 開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	
		公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）	